


1 OS の書き込み

1. 4GB 以上の USB メモリーディスクを用意します。(8GB 以上推奨)
2. MathLibre DVD を起動します。
3. USB メモリーディスクを接続します。
4. USB メモリーを接続した時、自動マウントしようとするのでキャンセルしてください。
5.  端末でどのデバイスを利用しているかを調べます。

```
ls -l /dev/disk/by-id | grep usb
```

6. /dev/sdb が USB メモリーディスクとします。
7. これ以降の命令は root 権限で実行します。

```
sudo -s
dd if=/dev/sr0 of=/dev/sdb
```

◎ 一般に /dev/sda は内蔵 HD に割り当てられていますので、十分に注意してください。

2 継続的保存領域の作成

fdisk を用いて継続的な保存領域を作成します。すでに /dev/sdb1 は作成されているので、その後ろに新たな領域 /dev/sdb2 を作成します。

1. fdisk を用いて /dev/sdb のパーティションテーブルを作成します。

```
fdisk /dev/sdb
```

```
GNU Fdisk 1.2.4
省略
Using /dev/sdb
```

2. テーブルを表示 (print) します。

```
Command (m for help): p
```

```
Device    Boot Start End  Blocks  ...
/dev/sdb1 *    1   1021 3838944  ...
```

3. 新しい (new) パーティションを追加します。

```
Command (m for help): n
```

```
Partition type
 e   extended
 p   primary partition (1-4)
```

4. プライマリパーティションを選択します。

```
p
```

5. /dev/sdb1 の後ろからパーティションを作成します。(/dev/sdb1 の End が 1021 であることに注意)

```
First cylinder (default 0cyl):
1022
```

6. Enter で最後まで作成します。

```
Last cylinder or +size or +sizeMB
or +sizeKB (default 2030cyl):
```

7. パーティションテーブルを表示して確認します。

```
Command (m for help): p
```

```
Device    Boot Start End  Blocks  ..
/dev/sdb1 *    1   1021 3838944  ..
/dev/sdb2          1022 2031 3793840  ..
```

8. ディスクに書き込み (write), 終了します。

```
Command (m for help): w
```

9. 作成した領域に persistence という名前をつけてフォーマットします。

```
mkfs.ext4 /dev/sdb2 -L persistence
```

10. 設定ファイルを /dev/sdb2 に作成して完成です。

```
mount -t ext4 /dev/sdb2 /media
echo "/ union" > /media/live-persistence.conf
umount /media
exit
```